

第4学年の実践

山下 恵子

【単元名】「みんなに教えたい！守恒クラブ活動」

【教材名】「アップとルーズで伝える」「仕事リーフレットを作ろう」（光村図書 4年）

1 学級の実態

<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識、相手意識の持ち方に個人差が大きい。他者を意識した発言・行動が難しい子がいる。 ・書くことに抵抗を感じている子どもがいる。 <p>【文字を書くことの抵抗・内容が思い浮かばない（順序立てて書けない）・書きたいことが見つからない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのアドバイスや助言を素直に聞き、自分に生かせる子どもが多い。
--

2 言語活動

相手意識	目的意識	場面意識（公/私）	ジャンル
学級の友だち 3年生	自分が調べたことの中で伝えたい情報の中 心は何かを考え選んで知らせる	公的	紹介文

3 学習目標

(1) 態度目標

自分が調べたことの中で「伝えたい情報は何か」を考え選材し、相手に応じて分かりやすく書こうという言語活動に対して興味関心意欲の態度をもつ。

(2) 価値目標

相手のことを考えて紹介したいことを精選し、クラブ活動紹介のリーフレットを作ることを通して、相手の立場に立ったものの考え方ができる。

(3) 技能目標

相手が知りたい情報や自分が伝えたい情報を、収集・選材・整理することができる。
文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。

(4) 年間技能目標における位置づけ（◎は重点的に指導）

月	単元	教材	ジャンル	課題	取材	論理	構成	記述	推敲	交流
5	筆者の考えを知って自分の考えと比べよう	動いて、考えて、また動く。	意見文					○		○
6	自分の伝えたいことを正確に報告文に書こう	読書生活について考えよう。	報告文	○			◎			
7	エコキッズ大作戦新聞を作ろう	新聞を作ろう	新聞		◎		○	○		
9	大好きな本の紹介をしよう	本は友だち	読書紹介文（ポスター形式）				○			◎
11	みんなに教えたい。守恒クラブ活動	「仕事リーフレット」を作ろう	紹介文	◎			○			
1	4の5アンソロジーを作ろう	野原の仲間になって	詩					◎	○	
3	アイデアいっぱい。ことわざブック	「ことわざブックを作ろう」	紹介文				◎			○

4 単元構成図

単元名・教材名

「みんなに教えたい！ 守恒クラブ活動」

「アップとルーズで伝える」「仕事リーフレットを作ろう」(光村図書 4年)

総時数 15時間

学習の活動目標

学習目標

第1次 (2時)

※《》は評価規準

同じ構図のアップの写真とルーズの写真を見せて、違いや感じたことを話し合い、学習計画を立てる。

写真を効果的に使って相手に分かりやすく伝える文章表現に関心を持ち、学習の計画を立てることができる。
《学習計画を立てることができる。》

第2次 (5時)

「アップとルーズで伝える」を読み写真と文章の関係性に気づく

アップとルーズ、それぞれの長所、短所を知りアップとルーズが目的に応じて使い分けられていることを読みとることができる。
《写真と本文の対応関係を理解することができる。》

写真と文章の関係を理解し「アップ」と「ルーズ」の意味を理解することができる。
《段落どうしの関係や役割を考えることができる》

第3次 (7時)

自分のクラブ活動について取材したことから内容を決め、写真や材料を選ぶ。(本時)

クラブ活動を紹介するために伝えたい内容について、取材したり、本で調べたりしながら情報を集めることができる。
《情報を収集し選材することができる。》

構成を考えて、クラブの紹介文を書き、リーフレットにまとめる。

より効果的に伝わるように写真を選材し、構成を考えて、リーフレットを作ることができる。
《写真と文章を対応させてリーフレットを書くことができる。》

グループで交流し、相互評価を生かして写真配分とコメントを見直すことができる。
《リーフレットを交流し推敲できる。》

第4次 (1時)

「みんなに伝えたい！ 守恒クラブ活動」のリーフレットを読んで交流しあい、学習のまとめをする

相手や目的に応じて適切に選材する必要性と意味をとらえ学んだことを整理することができる。
《グループで読み合い相互評価ができる》
《観点に沿って自己評価ができる》

5 学習活動と指導の実際

第一次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

①学習内容

(同じ構図の「アップ」の写真と「ルーズ」の写真を見比べ、違いや写真から感じられる事を話し合い、学習活動の見通しを持つ。(2時間)

② 指導内容

教科書の中に提示されている「アップ」の写真と「ルーズ」の写真、また新聞の記事に使われている写真を見比べて、気づいたことや感想をワークシートに書き、自由に話し合わせた。「アップの方は分かりやすい」「詳しい所を説明するのにアップが使われている」「ルーズは周りの様子がよくわかる」「一人より集団の場合はルーズを使っている」など、「アップ」と「ルーズ」の写真の意図や用途など示す意見がでた。子どもたちは、写真を効果的につかっ新聞記事や雑誌を日ごろからも多く目にするため、写真を効果的につかっ文章表現に強く関心をもった。そこで「アップ」と「ルーズ」を効果的に使っているリーフレットを提示し、どのように紹介されているか見せることで、自分たちも写真を効果的に使った紹介文を書こうという意欲をもったようであった。「教えたい守恒小のクラブ活動のこと」を目標に、学習の計画を立てた。(資料1) 計画の中で、「アップ」と「ルーズ」の意味や効果をもっと知りたい、目的に応じての使い分けなどを知ろうということで第二次につないでいった。

資料1

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	時
三年に交流する学習の手始め	リーフレット作って交流	取材したことをまとめる	取材する	自分の取材について取材することを決める	取材のしかたの方法を学ぶ	リーフレットの作り方を学ぶ	リーフレットを作る	リーフレットを作る	リーフレットを作る	学習活動
三年生が学校で活用してもらおう	見せよう 感想をもらおう	リーフレットにのせる内容を決め 構成を考える	インタビューをする 写真、を撮る	取材メモを作る 紹介したいことを決める	教科書資料をさがす	教科書資料をさがす	教科書資料をさがす	教科書資料をさがす	教科書資料をさがす	学習内容
◎△	◎△	◎△	◎△	◎△	◎△	◎△	◎△	◎△	◎△	学習のよりかえり

学習のめあて
クイズ活動紹介のリーフレットを作ろう
― 守恒小 ―

第二次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

①学習内容

「アップとルーズで伝える」を読み、写真と文章の関係性に気づく。

(1) 「アップ」と「ルーズ」の違いをみつけ、それぞれの長所と短所をまとめ、「アップ」と「ルーズ」の意味を理解する。(3時間)

(2) 写真と文章の関係を理解し、アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることを読みとる。(2時間)

②指導内容

(1)「アップとルーズで伝える」を読み、テレビでのサッカーの試合の放送を例に書かれていること、「アップ」と「ルーズ」はそのときの映し方であることを押さえた。

段落に番号をつけ、八つの段落で構成されている文章であることに気づき、問いの段落、「アップ」について書かれている段落・「ルーズ」について書かれている段落・まとめの段落を見つけることで、段落構成を考えながら読み進めていった。そして、「アップ」と「ルーズ」それぞれの長所と短所をワークシートにまとめていった。(資料2) 写真についても出てきた順番に番号をつけるなどして読み取りに生かすよう促した。

(2) まとめたワークシートや、最後の段落から、テレビや新聞でも「アップ」「ルーズ」を使う際は、
○受け手が知りたいことはなにか。

○送り手が伝えたいことはなにか。

が、大事であることを抑えた。前時で掲示した「アップ」と「ルーズ」の写真が上手く構成されているリーフレットを再度みせると、「動物園の案内リーフレットは、ルーズの写真で園全体を紹介して、動物のアップで興味を持てるようにしている」「花を植えている手だけをアップで見せると、植えている花を大切にしている姿が見える」など、それぞれの役割を押さえ、写真と文章の関係性を考えていた。この関係性から、「受け手」と「送り手」の立場と情報を考えて、どのようなリーフレットを作りたいか話し合い、次時へつないだ。

資料2

役割 (どんな時につかったらよいかな?)	短所	長所	
<ul style="list-style-type: none"> この部分を大きく写した時 えがめた時 近く(全)の様子をとりた 笑っているなどの表情をとりた 時 	<ul style="list-style-type: none"> 写しているもの以外のものは分らない 	<ul style="list-style-type: none"> 細い部分と情報視線が分かる 	アップ
<ul style="list-style-type: none"> 全体の姿を説明したい時 みんなの姿(せ)を写したい時 	<ul style="list-style-type: none"> 顔の表情を視線から感じられる気持ちをは分らない! 	<ul style="list-style-type: none"> 広はりの様子が分かる 大まかな様子が分かる 	ルーズ

アップとルーズを併せて、奥と手前をさらす。

めあて
アップとルーズについてまとめよう

第三次

①学習内容

自分のクラブ活動について、伝えたいこと、知らせたいことについて取材し、文章と写真を構成し、リーフレットを作る。

(1) クラブ活動を紹介するために、相手が知りたいことは何か、自分が伝えたいことは何かを考え、内容を選択する。(1時間)

(2) 选材にそって、取材したり、本で調べたりする。(2時間)

- (3) リーフレットの作り方を確かめる。 (1時間)
- (4) より効果的に伝わるように、写真を選び、構成を考えて紹介文を書く。 (2時間)
- (5) グループで交流し相互評価を生かして、写真配分と文章を見直す。 (1時間)

②指導内容

(1) どのような内容にするかの話し合いでは、自分が伝えたいことや教えたいことを中心に話し合いを進めさせた。話し合いの中で「みんなはクラブ活動の内容が一番知りたいと思う」の子どもの発言を取り上げ、2次の学習で「受け手」と「送り手」の立場を考えて、情報を精選し、リーフレット作りに取り組むよう、確認していたことを再度ふり返るよう促した。このことから子どもたちは、相手が何を知りたいのかという立場で考え、自分が伝えたいことと照らし合わせて選材させた。

全体での話し合いを十分にした後、各自でワークシートに自分のクラブ活動について紹介したいこと、それにともなって取材したいことをまとめた。(授業の実際 資料3参照) 同級生や3年生へ、相手意識をしっかりと持って取り組めた。また、同じクラブ活動の子どもどうして、自分のワークシート(資料3)をもとに話し合いさらに選材していった。

(2) 取材することをもとに、取材メモを作成した。(資料4) メモにはたずねることや調べることを書き、それらについて分かったことや知ったことを書きとめさせた。クラブ活動の時間や休み時間、放課後などを利用して取材を行い、取材したことを学習時間にまとめていった。同じクラブ活動の児童同士で、インタビュー者を分担し、お互いに情報を交換するなど協力しながら取材する様子も見られた。

資料4

<p>クラブ活動名</p> <p>アンソニア ルーズビル</p>		<p>アンソニアで伝える</p> <p>ワークシート5 4 3</p>
<p>場所</p> <p>クラブの良</p> <p>さ(担当)</p>	<p>場所は図書室</p> <p>作られた物かぶえを</p> <p>アンソニア</p>	<p>アンソニア</p> <p>アンソニア</p>
<p>人数</p> <p>(担当の先生)</p>	<p>約30人</p>	<p>アンソニア</p>
<p>時間はどのくらいかかるのか</p>	<p>作る物によつて、1時間か2時間かたまたま物によっては時間がかかるとある</p>	<p>アンソニア</p>
<p>どんな物を作っているのか</p>	<p>焼き物や折り紙やお皿を作る。</p>	<p>アンソニア</p>
<p>どんな物を使っているのか</p>	<p>ねんど板はさみのり、竹くし、葉</p>	<p>アンソニア</p>
<p>図書室にいない時は担任をしているのか</p>	<p>焼き物に色をつけたりしている。</p>	<p>アンソニア</p>
<p>ワーククラブのまじ</p>	<p>作れる事</p> <p>アンソニア</p>	<p>アンソニア</p>
<p>楽しみ方</p> <p>(得意)</p>	<p>自由に自分のつくりたい物を作る</p>	<p>アンソニア</p>

(3) 教科書のリーフレット作りを参照に、ページ割を確認させた。教科書のリーフレットや1次で提示したリーフレットを見せてどのように書かれているか確かめると、
「消防署といたら火事を防ぐとかんじだけど、その仕事以外を紹介しているので、

知らないことを知らせるのはいいと思う。」

「給食の材料をアップの写真をつかっています。材料の多さがわかっていいと思う。」

「給食室の広さと道具と、働いている人がいっぱいになるのでここはルーズの写真がよいと思った。」
などのような意見交換があり、「アップ」と「ルーズ」についての工夫を見つけていた。そこで、自分たちのリーフレットにはどのような事をどのように載せたらよいか、写真はどのように工夫するか話し合った。

「活動している人が工夫していることや、活動していて楽しい事とかものせると、読む人がよくわかると思う。」

「クラブ活動の取材をして思ったことや感想を書いたらいいと思う。」

「インタビューしたことや感想は、裏表紙に載せてはどうか。」

などの意見から、リーフレットの表紙と裏表紙についても活発な意見がでていた。さらに、同じクラブ同士のグループで話し合いがされた。


取材したことの中から、何と何を選んで書くか、クラブ活動の良さやおもしろさ、楽しさが伝わるように取材したことをもとに、写真と組み合わせ文章にまとめていくことを確認した。

(4) リーフレット作りを確認した後、自分の取材メモやワークシートを活用してリーフレットの構成を考えた。表と裏のモデル内容を提示して、それぞれ構成を考えていったようである。また、書く文章にあわせて、アップの写真・ルーズの写真を組み合わせ、写真と文章の構成を組み立てながら作成した。


(資料5)

(5) 同じクラブ活動どうしや班でリーフレットを見せ合い、(写真2)写真と文章の構成、また、取材メモをもとに、伝えたいことが書かれているかなど見直し推敲した。「写真が文章と合わない」「別の構図の写真が良い」など、活発に意見が出ていた。

資料5 中ページ



パソコンクラブの楽しみ方はみんなを決めたルールを守ることだけに教える協力してすることです。また作品を友達と見せ合うことも楽しみ方の一つです。左の写真を見て下さい。友達で作ったアニメーションを画面で見ている所です。とても楽しそうです。みなさんもパソコンクラブに入るとこのようなみんなが楽しくなるような物も作ってみてください。楽しくローマ字や絵の書き方アニメーションの作りかたとかおぼえられるのでパソコンクラブはとても楽しくて良いところだと思います。



パソコンクラブについて紹介します。みなさんは、パソコンはむずかしいと思いませんか？パソコンはむずかしくありません。パソコンは基本さえおぼえればだれでも自由に使えるようになります。パソコンクラブの人数は約40人です。パソコンクラブでは主にアニメーション作り・ゲーム作りなどを行います。毎年やることは自分たちで決めるので好きな事ができます。また作品は友だちと見せ合います。わからない事は部長や先生たちが教えてくれるので安心です。

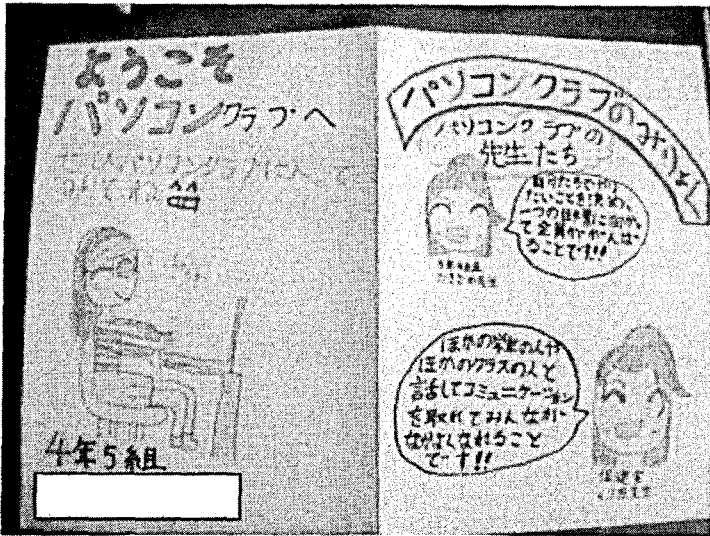


写真 2



第四次

①学習内容

「みんなに伝えたい。守恒クラブ活動」の各自のリーフレットを読んで交流しあう。また、来年度クラブ活動に参加する3年生にリーフレットを見てもらい相互評価、自己評価をして学習をまとめる。

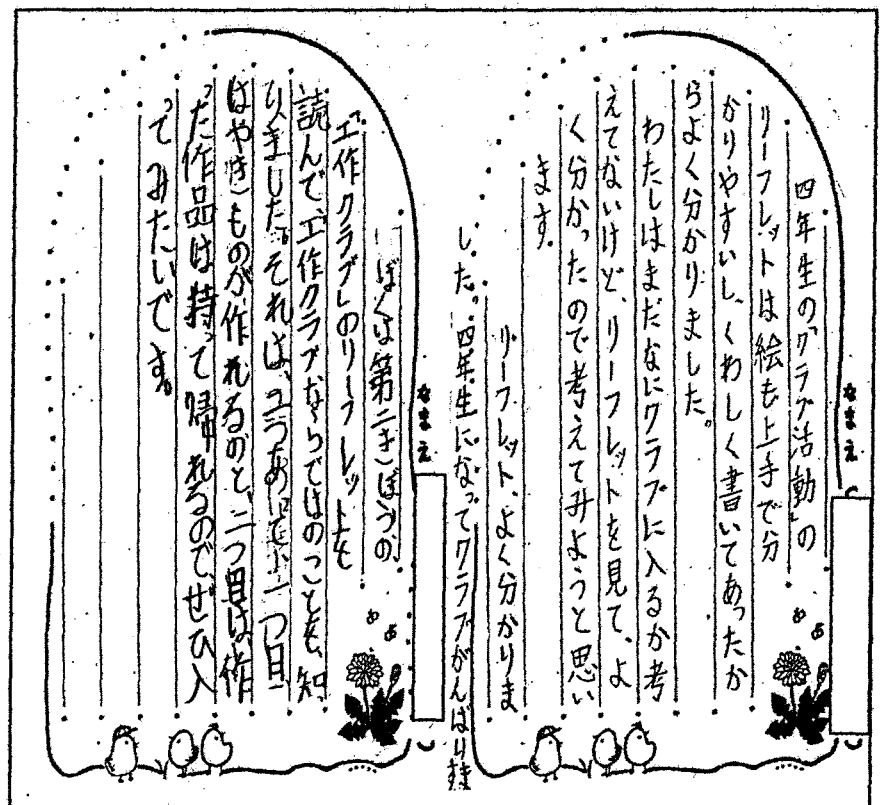
(1時間)

②指導内容

(1) アップとルーズが効果的に用いられているか、相手に応じたわかりやすい表現になっているかを視点に読み合い相互評価をさせた。(写真3) また、3年生にリーフレットを読んでもらい感想(資料6)をもとに自己評価につなげた。

資料6

写真3



6. 授業の実際

授業1 リーフレット内容の精選の話し合いの指導について

(1) 授業の計画

教師の手だて



前時で学習した「受け手」と「送り手」の立場を考えて情報を精選するよう促す。

ワークシートを活用して、同じクラブ活動どうして、内容を精選させる。

【本時でつきたい力】

クラブ活動を紹介するために、相手が知りたいことは何か、自分が伝えたいことは何かを考え、内容を選材することができる。

【本時の言語活動】

自分たちが活動しているクラブ活動のことをどのように伝えたら良いか、何を伝えたら良いか話し合う。

【本時の活動計画】

①本時の学習課題を把握する。

クラブ活動で紹介する内容について話し合おう

②クラブ活動についてどのような事を紹介したらよいか話し合う。

- 紹介したいことを発表する。
- 皆が知りたがっている情報についても考える。
「授業実践 参照」

③話し合ったことから、ワークシートに知らせたい内容をまとめる。

- 相手が何を知りたいのかを考え、自分が伝えたいことと照らし合わせて選材する。
- 同じクラブ活動の子どもどうして、自分のワークシートをもとに話し合う。

②クラブ活動についてどのような事を紹介したらよいか話し合う。

- 紹介したいことを発表する。
- みんなが知りたがっている情報についても考える。

③話し合ったことから、ワークシートに知らせたい内容をまとめる。

- 相手が何を知りたいのかを考え、自分が伝えたいことと照らし合わせて選材する。
- 同じクラブ活動の子どもどうして、自分のワークシートをもとに話し合う。



④ワークシートをもとに次時は取材メモを作成することを確認する。

- 取材メモを作成の際に、取材することと併せて、写真「アップ」か「ルーズ」か、をどのように配置するか考えるようにする。

⑤学習計画表に、めあてにそって学習できたか自己評価を記入し、本時のまとめをする。

児童の意識の流れ

〇〇クラブ活動の内容を教えたい。



雨の日の活動は知らないと思うので、雨の日の活動を教えたい。



みんなはクラブ活動のどんなことを知りたいのだろう。



みんなが知りたいことを中心に紹介リーフレットを作ろう。

(2) 授業の実際

①本時の学習課題を把握する。

前時の学習を想起し、本時のめあてを確認した。

クラブ活動で紹介する内容について話し合おう。

②クラブ活動についてどのような事を紹介したらよいか話し合う。

二次の学習での「受け手」と「送り手」の立場を考えることをもとに情報を精選しリーフレットを作成することを確かめて、話し合いを行った。

〈どのようなことを紹介したいか内容についての話し合いの様子〉

T クラブ活動では、どのような事を紹介したいですか。

C1 何をしているかを紹介したいです。

C他 同じです・・・

C2 どんな活動をしているかを紹介したい。

C3 私は、運動Bだけど、雨の日とかは違うことをするので、そんなことも紹介したいです。

C4 付け加えます。多分、みんなは、雨の日のクラブ活動を知らないと思うので。雨の日の活動を入れるといいと思います。

T みんなが知らないことはたくさんありますね。

c5 道具の使い方とかも教えたいです。

C6 道具の使い方もいいけど、何の道具があるか分からないので、そんなことを最初に紹介した方がいいと思います。

・・・中略

C7 担当の先生の紹介もいいと思います。

C8 担当の先生は毎年変わるから、そのことよりもクラブ活動の中身の方がいいと思います。

C9 活動の内容をみんなは知りたいと思います。

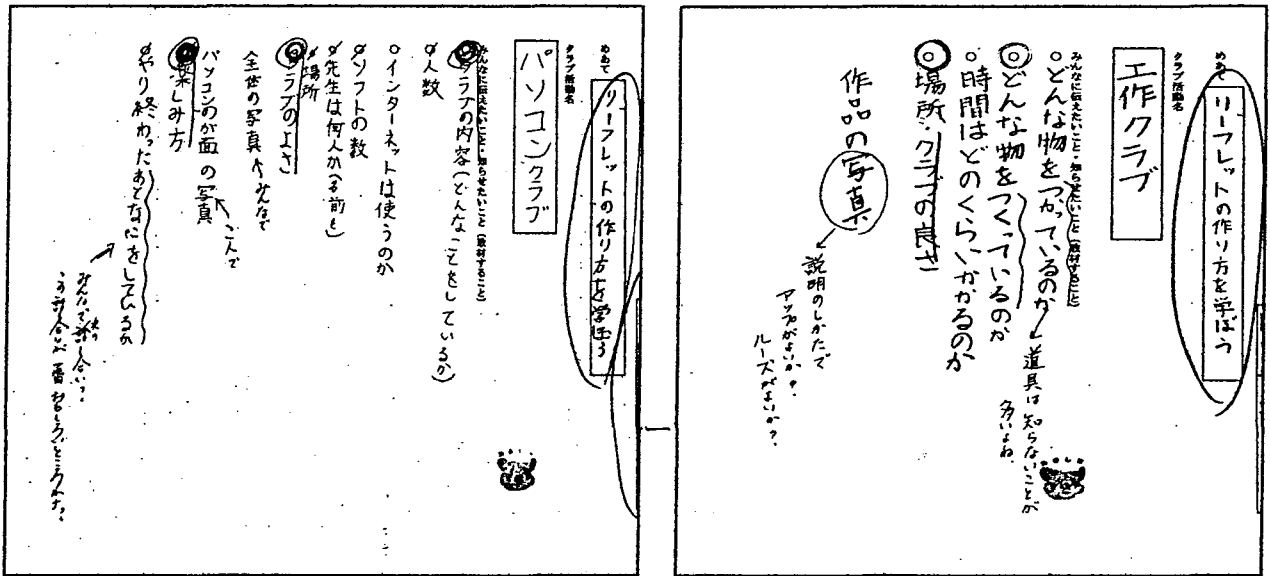
T C4さんやC8さんの意見に注目してください。前回の学習で、「送り手」と「受け手」について確かめましたね。守恒小のクラブ活動について、みんなはどんなことを知りたいのか、自分のクラブ活動について何を伝えたいのか相方の思いを考えることが大事だね。

自分が伝えたいことや教えたいこと（「送り手」の立場）を中心に話し合いが進んでいたが、C4、C8児の「受け手」の立場からの発言をきっかけに、「受け手」「送り手」双方の立場から、内容を精選し、リーフレット作りに取り組むよう、再度確認した。

③話し合ったことから、ワークシートに知らせたい内容をまとめる。

話し合いをもとに、ワークシートに載せたい内容から取材したいことをメモにしていった。

(資料 3)



野外での活動をするクラブや「ゲーム」クラブなど、「内容が晴れた日と雨の日では違うということを紹介リーフレットに是非入れたい。」や、工作クラブや手芸クラブなどは「できた作品の写真や作品を作るまでの行程を写真にとるとわかりやすい」など、紹介する内容をさらに吟味し精選する発言が見られた。

また、どのような写真を取っていくかなどアップの「ア」ルーズの「ル」の文字を加えてメモする姿もみられた。

④ワークシートをもとに次時は取材メモを作成することを確認する。

それぞれがまとめたワークシートをもとに、次時は取材メモを作り、取材することを確認した。

⑤学習計画表に、めあてにそって学習できたか自己評価を記入し、本時のまとめをする。

本時のめあてにそって、自分のクラブについて紹介したいことを決めることができたか、学習計画表の評価(資料1)に記入し自己評価をして学習をまとめた。

7 実践のまとめ

(1) 成果

価値目標

相手のことを考えて、文章構成しわかりやすいリーフレットを作ることを通して、相手の立場に立ったものの考え方ができる。

クラブ活動の取材をする際に、自分が知らせたいことよりも、みんなが活動の何を知りたいか、の視点で取材活動を行った。自分の活動しているクラブの良さや魅力、楽しさを伝えようという目的が、読む相手（学級のみんなや3年生）のためになっていることで、相手や目的にあわせて选材できた。また、文章と写真を組み合わせる際に、アップにするのかルーズにするのかでは、「道具がはっきりとわかりやすいから、アップの方がいいね。」「運動場で、みんなの様子が人目で分かるルーズの方が文章の説明にあってるよ。」などアドバイスしあい、相手のニーズにあわせて考えることができた。

態度目標

自分が調べたことの中で「伝えたい情報は何か」を考え选材し、相手に応じてわかりやすく書こうという言語活動に対して興味関心意欲の態度をもつ。

自分が取り組んでいるクラブ活動を紹介するという課題設定は、自分の体験、経験を生かし、活動の内容や仕方、自分にしかわからない活動の楽しさを紹介するために、どの子も積極的に取り組んだ。また、同じクラブ活動の子ども同士で意見交換や取材協力を行うことで、活動意欲も継続したように思われる。意見交換やグループでの交流は、自分の取材やリーフレットの構成を見直す機会を持つことができた。それは、相手に伝えたい情報がよりよく伝えられる、相手に分かりやすく伝えられる方策につながった。特に3年生にリーフレットを読んでもらって来年度のクラブ活動の参考にしてもらうことは、目的意識・相手意識がはっきりと明確になり、リーフレット作りに意欲的であった。

技能目標

- ・相手や目的に合わせて选材できる。
- ・相手のニーズや目的に合わせて、写真をアップにするかルーズにするか考える。
- ・自分が伝えたいことについて取材したり本で調べたりすることができる。

选材するためのワークシートをまとめ、同じクラブ活動の子どもどうしで、自分のワークシートをもとに話し合った。选材していったことは、自分のワークシートをまとめやすくなった。また、その後、取材メモにつながられた。取材メモでは、取材した項目一つ一つに「アップ」か「ルーズ」の写真配分をして、それに合う文章を構成していった。「相手に伝わるように」を意識して、文章を構成することで「アップ」がよいか「ルーズ」の写真がよいか考えることができたようである。

取材メモでは、写真配分と文章構成をもとに取材した中から精選してリーフレットを構成する内容を選べた。

(2) 課題

○リーフレットには様々な様式やモデルがあり、教師が提示したリーフレットの様式が多すぎて、リーフレットの構成にとまどった子どもがいた。結局、教科書のモデルを中心に構成を行った。リーフレットの様式を教師側が精選して提示すればよかった。

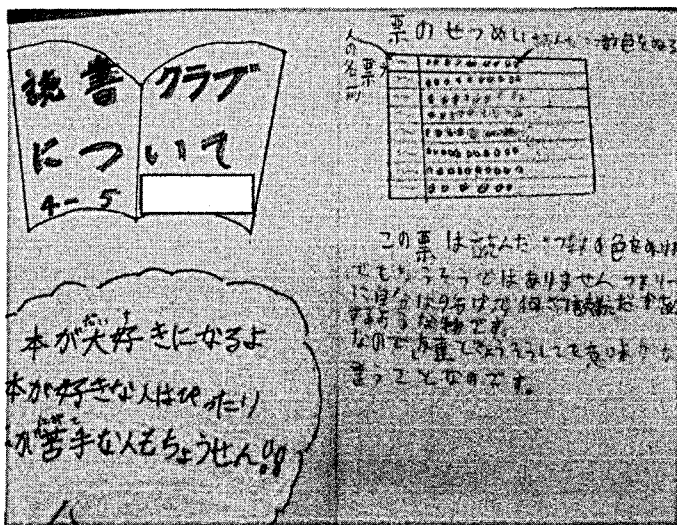
○評価では「〇〇クラブ活動のことがよく分かった」「写真の配分がよかった」「雨の日のクラブ活動の様子が具体例を書いてよくわかった」など内容にふれている評価と、書き方にふれている評価があったので、評価の観点をもう少し具体的に示さなければいけなかった。

(3) 単元を終えて

A児は、自分中心に何事も考える子どもで、気に入らないことがあったり思い道理にならないことがあったりするとめめることが多かった。しかし、学習を通して、相手を意識した視点から、クラブ活動の内容精選が話し合われた。

「読書クラブのシール活動（読んだ本の冊数をシールでつける）は、学級でもできるって伝えん？みんなもできることだよ。」「本の紹介カードを書いているから、それを図書室に張ってもらったら、読書クラブのことがもっと分かるかも。」「みんなに読書クラブのお勧めの本を読んでもらいたいね。」など他者を意識した発言が見られた。

「A児の作った紹介リーフレット」



「紹介カードを活用した学級文庫」



A児は、読書クラブで活動した ことの中で、学級でも活かせることを中心に、読書クラブの紹介リーフレットを作った。また、学級の友だちに「どんな本が読みたい？」と聞いて自分で作った紹介カードを教室の学級文庫に取り付けるなど、他者を意識した行動も見られた。

帰りの会での「良いところみつけ」で、そのことを取り上げられたA児はうれしそうであった。

学習活動を通してどのような子どもを育てるのか。単元を構成する3つの目標を、学級の実態に照らして立てること。学習を貫く相手意識・目的意識をしっかりとって活動することで、子どもたちは楽しみながら自分の思いを相手へ伝えていくことができた。

相手の立場に立って、自分の考えや表現を変えていくことが自己表現力の育成につながるのではない。相手を意識する力が、学習意欲を喚起させるのだと思った。